

調査・事例報告

木曾町における観光客の動向に関する調査・研究(Ⅲ)

葛西 和廣・田中 正敏・成 耆政・佐藤 進・鈴木 尚通

Study on activities of visitors to Kiso district based on a survey in 2012

KASAI Kazuhiro, TANAKA Masatoshi, SUNG Kijung, SATO Susumu and SUZUKI Naomichi

要 旨

2012年も前年同様10月下旬に、木曾福島地区、道の駅日義木曾駒高原、開田高原の3調査地点で、観光客に対し木曾地域の魅力を探るためにアンケート調査を行った。今回は、天候が小雨交じりで、気温も低かったこともあり、道の駅日義木曾駒高原と開田高原を訪れた人は前年よりも少なかった。今までの調査では伊那方面から木曾町に至る経路、すなわち権兵衛トンネルを通ったかどうかを質問し、権兵衛トンネル開通による通行量の変化に注目していたが、今回の調査では、来訪者が木曾町に至る道筋と木曾町からの帰路の道筋がわかるように調査項目を変更した。そうすることによって、観光客(来訪者)の動向が、今までの調査よりも少しははっきりとつかめるようになってきた。来訪者の「訪れた(または訪れる予定の)場所」は、昨年と同様に、主に「御嶽山とその周辺」、「宿場町」、「道の駅」、そして「木曾福島地区の観光スポット」であった。

キーワード

木曾 自然の風景と食 宿場町

目 次

- I. 序
- II. 調査結果の分析
 - 1. 来訪者の年齢層
 - 2. 旅行日程と主な立ち寄り先
 - 3. 現在地における滞留予定時間と旅行相手
 - 4. 主な交通手段と旅行のルート
 - 5. 現在地への来訪回数と来訪目的
 - 6. 今回の旅行で訪れた、または訪れる予定の場所
 - 7. 情報収集の方法と求める地域情報
 - 8. 旅行予算とお土産代
 - 9. お土産として購入したものと探しているもの
 - 10. おいしかったもの
 - 11. 木曾路の印象
- III. 結
- 謝辞
- 付録. 2012年度アンケート票

I. 序

木曾町における観光客に対するアンケート調査は10月28日(日)の11時頃から15時半頃まで、木曾福島地区(山村代官屋敷、足湯)、道の駅日義木曾駒高原、及び開田高原アイスクリーム工房前で行った。当日の天候は曇り時々小雨で、調査時間帯の気温は木曾福島地区では11.5℃~13.0℃、開田高原では8.9℃~10.7℃であった。27日(土)から29日(月)は3連休で、27日の昼間の天候は晴れ、28日には低気圧が長野県を含む地域を通過する、また29日には天候は回復すると予報されていたこともあり、28日に木曾を訪れた観光客は少なかったようだ。今年度は学生の就職環境が厳しいこともあり、調査員として学生が十分に集まらなかったため、木曾福島地区上の段ではアンケート調査を行わなかった。

アンケートに対する回答者(以下「来訪者」)は、木曾福島地区41人(足湯28人、代官屋敷13人)、道の駅日義木曾駒高原63人、開田高原52人、合計156人であった。前年(2011年10月30日(日))の調査結果よりも、71人減少(木曾福島地区では15人減少、道の駅日義木曾駒高原では37人減少、開田高原では20人減少)した。

来訪者の性別は男性75人(48.1%)、女性73人(46.8%)、未記入8人(5.1%)であった。来訪者の居住地は、長野県64人、愛知県40人、岐阜県6人、静岡県85人、その他都道府県37人、未記入21人であった。

長野県からの来訪者64人の中で、居住市町村名

を記入した方は40人で、松本市12人、木曾町5人、安曇野市2人、伊那市2人、大町市2人、駒ヶ根市2人、塩尻市2人、諏訪市2人、長野市2人、飯島町1人、上田市1人、大桑村1人、岡谷市1人、木祖村1人、佐久市1人、高森町1人、野沢温泉村1人、山形村1人であった。

その他都道府県は37人全員が居住都府県を記入していた。その内訳は、東京都8人、神奈川県7人、大阪府4人、京都府3人、千葉県3人、兵庫県3人、新潟県2人、山形県2人、茨城県1人、埼玉県1人、滋賀県1人、福井県1人、三重県1人であった。

以下では156票の回答を、居住地未記入の1票を除き、長野県内(64人)、長野県近隣の3県(愛知県40人、岐阜県6人、静岡県8人、合計54人、以下「愛知他2県」と)とその他都道府県(37人)に分けて集計した結果を主として報告する。

II. 調査結果の分析

来訪者の性別は、長野県では64人の中で、男性30人(46.9%)、女性30人(46.9%)、未記入4人(6.3%)、愛知他2県では54人中、男性31人(57.4%)、女性20人(37.0%)、未記入3人(5.6%)、その他都道府県37人の内訳は男性14人(37.8%)、女性22人(59.5%)、未記入1人(2.7%)であった。

1. 来訪者の年齢層

〈図1〉に年齢層別の集計結果を示す。来訪者の最も多い年齢層は、長野県(図の凡例では「長野」)では60歳代21.9%(14人)、50歳代18.8%(12

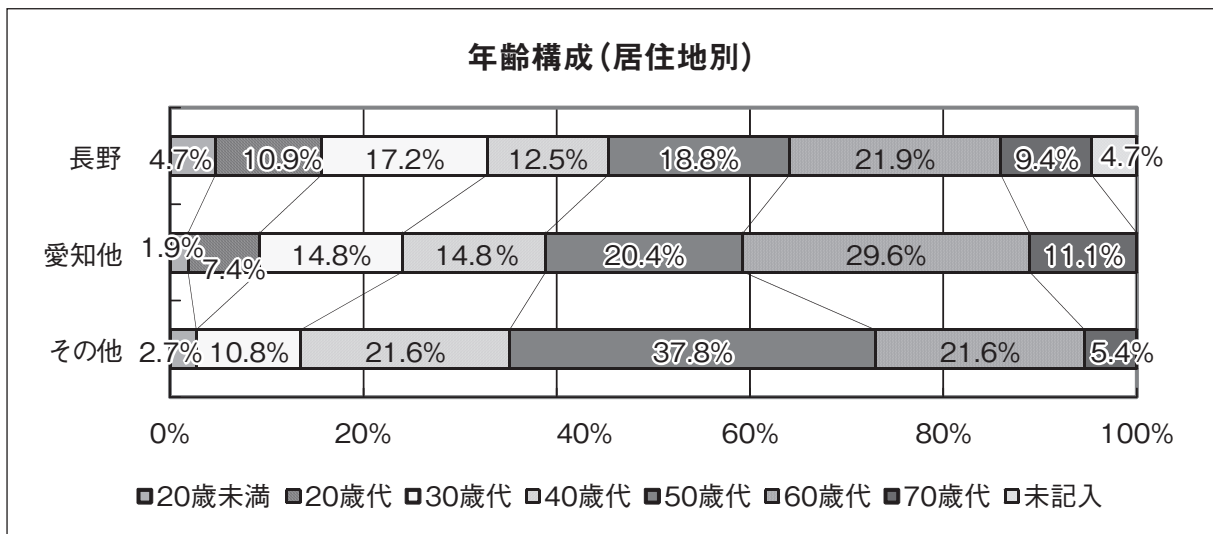


図1. 来訪者の年齢層

人)、30歳代17.2% (11人) の順であった。愛知他2県(図の凡例では「愛知他」)では60歳代29.6% (16人)、50歳代20.4% (11人)、30歳代と40歳代がともに14.8% (8人) の順であった。その他都道府県(図の凡例では「その他」)では50歳代37.8% (14人)、40歳代と60歳代がともに21.6% (8人) であった。50歳以上の来訪者を比較すると、長野県50.0% (32人)、愛知他2県61.1% (33人)、その他都道府県64.9% (24人) で、長野県の比率が愛知他2県、その他都道府県よりも10ポイント以上低くなっている。一方、30歳代以下(40歳未満)では、長野県32.8% (21人)、愛知他2県24.1% (13人)、その他都道府県13.5% (5人) と長野県の比率が愛知他2県よりも約9ポイント、その他都道府県よりも19ポイント高くなっている。天候が県外からの若年層の行動に影響を及ぼしている可能性がある。

2. 旅行日程と主な立ち寄り先

来訪者の旅行日程を(図2)に示す。長野県からの来訪者は、日帰り92.2% (59人)、1泊2日3.1% (2人)、3泊4日以上1.6% (1人)、未記入3.1% (2人) であった。

愛知他2県は、日帰り51.9% (28人)、1泊2日44.4% (24人)、2泊3日1.9% (1人)、未記入1.9% (1人) で、宿泊を伴う人は46.3% (25人) であった。

その他都道府県は、日帰り10.8% (4人)、1泊2日70.3% (26人)、2泊3日13.5% (5人)、3泊4日以上が2.7% (1人) と、宿泊を伴う人は86.4% (32人)、2泊3日以上の方は16.2% (6人) を占めている。2011年の調査では日帰り21.1% (11人)、宿泊を伴う人

は73.1% (38人) であったから、2012年はこれよりも日帰りが10ポイント低く、宿泊を伴う人が13ポイント高くなっている。天候不順の影響が特にその他都道府県の日帰り客の減少に現れている。

「今日(2012年10月28日(日))は旅行日程の何日目か」との間に対する宿泊を伴う来訪者の回答結果を(図3)に示す。長野県(3人)は2日目66.7% (2人)、未記入33.3% (1人) であった。愛知他2県(25人)は1日目16.0% (4人)、2日目64.0% (16人)、未記入20.0% (5人) であった。その他都道府県(32人)は1日目15.6% (5人)、2日目56.3% (18人)、3日目9.4% (3人)、4日目以上3.1% (1人)、未記入15.6% (5人) であった。

1泊目の宿泊地に対する集計結果を(図4)に示す。長野県からの来訪者は、木曾町33.3% (1人)、木曾町以外66.7% (2人) であった。愛知他2県は、木曾町32.0% (8人)、木曾町以外28.0% (7人)、未記入40.0% (10人) であった。その他都道府県は、木曾町46.9% (15人)、木曾町以外34.4% (11人)、未記入18.8% (6人) であった。

長野県の方で、主な立ち寄り先を記入した方は11人で、その一覧を(表1a)に示す。表中の丸印(○)は調査当日を表す。愛知他2県で主な立ち寄り先を記入した方は19人で、その一覧を(表1b)に示す。その他都道府県で主な立ち寄り先を記入した25人の日程を(表1c)に示す。

3. 現在地における滞留予定時間と旅行相手

来訪者の調査地点付近(木曾福島地区、道の駅日義木曾駒高原または開田高原)における滞留(予

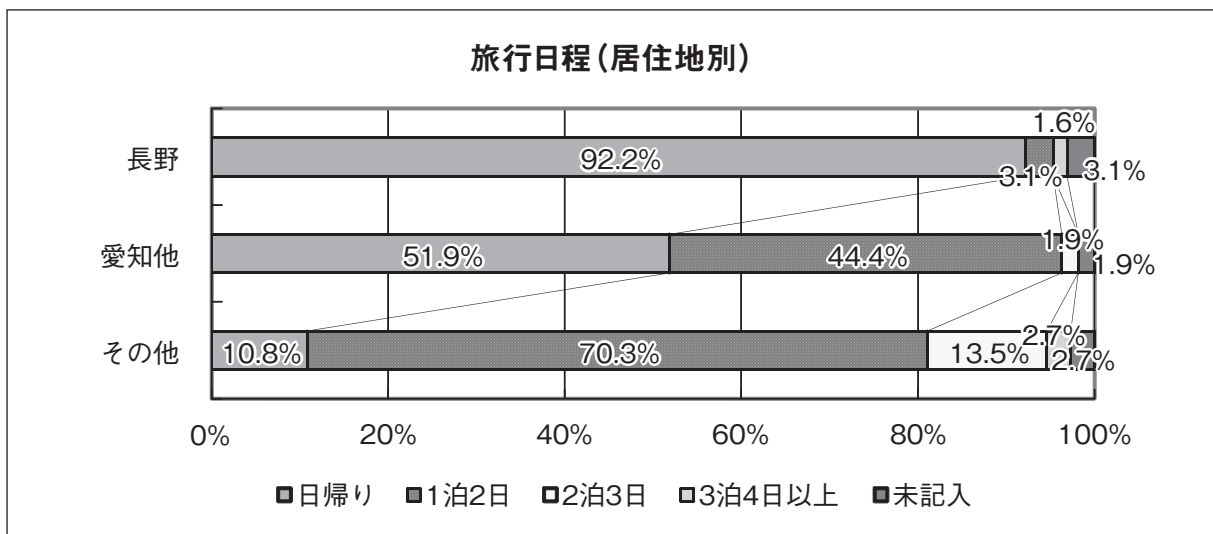


図2. 来訪者の旅行日程

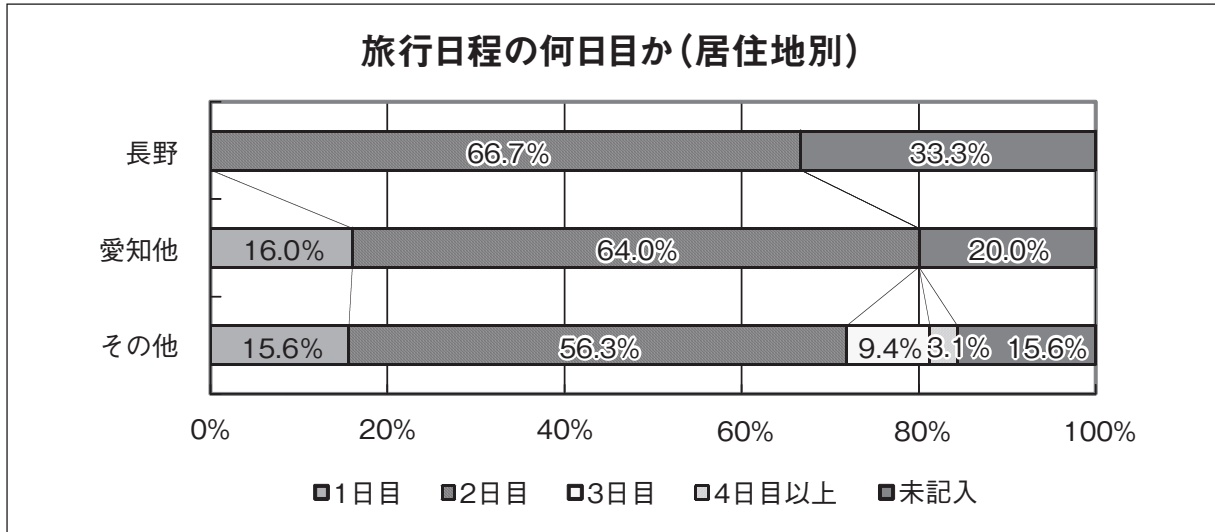


図3. 旅行日程の何日目か

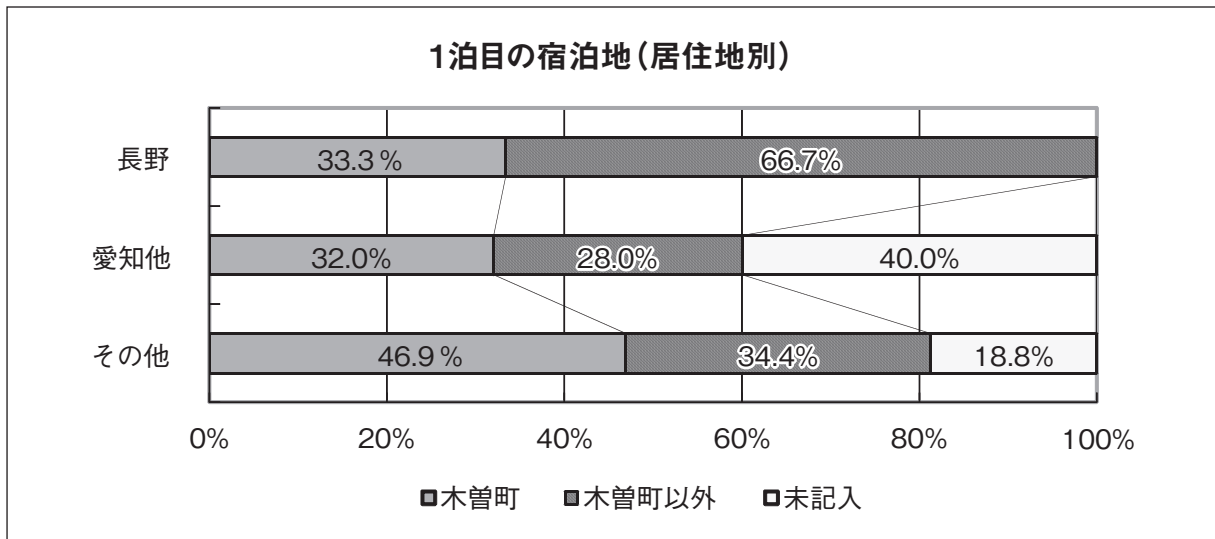


図4. 1泊目の宿泊地

表1a. 長野県からの来訪者の主な立ち寄り先

年齢	日程	1日目	2日目	3(4)日目	旅行相手	交通手段
30歳代	日帰り	御岳ハーフマラソン			家族(子連れ)	マイカー
50歳代	日帰り	上松			友人知人	マイカー
30歳代	日帰り	伊那			友人知人	マイカー
50歳代	日帰り	三岳			その他(研修)	その他
70歳以上	日帰り	三岳			農家の団体	観光バス
60歳代	日帰り	木曾			夫婦	マイカー
40歳代	日帰り	開田高原			家族(子連れ)	マイカー
50歳代	日帰り	木曾福島 開田高原			単独	マイカー
60歳代	1泊2日	松本、新穂高ロープウェイ	○乗鞍高原		夫婦	マイカー
70歳以上	1泊2日	馬籠			単独	マイカー
30歳代	3泊4日以上	開田高原	○木曾駒高原	木曾福島(伊那)	家族(子連れ)	マイカー

定)時間を〈図5〉に示す。滞留時間が1時間未満の人は、長野県54.7%(35人)、愛知他2県25.9%(14人)、その他都道府県45.9%(17人)であった。

2時間以上現地で過ごす来訪者は、長野県23.4%(15人)、愛知他2県38.9%(21人)、その他都道府県40.5%(15人)であった。長野県外からの来訪者

表1b. 愛知他2県からの来訪者の主な立ち寄り先

日程	年齢	1日目	2日目	旅行相手	交通手段
日帰り	40歳代	木曾福島、開田高原		知人友人	マイカー
日帰り	60歳代	車山、開田高原		知人友人	マイカー
日帰り	60歳代	道の駅めぐり		知人友人	マイカー
1泊2日	60歳代	御岳	○福島	知人友人	鉄道(JR)+タクシー
1泊2日	60歳代	赤沢森林公園	○木曾福島	夫婦	鉄道(JR)
1泊2日	60歳代	御嶽ロープウェイ	○福島地区内	知人友人	鉄道(JR)+タクシー
1泊2日	30歳代	長野県		家族(大人のみ)	マイカー
1泊2日	60歳代	箕輪・木曾福島	濁河、せせらぎ街道	夫婦	マイカー
1泊2日	30歳代	木曾	○木曾	家族(子連れ)	マイカー
1泊2日	60歳代	木曾駒高原	○	家族(子連れ)	マイカー
1泊2日	70歳代	高山		知人友人	マイカー
1泊2日	50歳代	濁河温泉	○	家族(大人のみ)	マイカー
1泊2日	30歳代	ゴルフ	○開田高原	夫婦	マイカー
1泊2日	40歳代	阿弥陀岳	○開田高原	夫婦	マイカー
1泊2日	20歳代	○開田高原	上高地	カップル(未婚)	マイカー
1泊2日	40歳代	高山		単独	バイク
1泊2日	40歳代		○木曾	夫婦	マイカー
1泊2日	70歳代	赤沢自然休養林	○開田高原	家族(子連れ)	マイカー
2泊3日	70歳代	赤沢	○福島	夫婦	鉄道(JR)

表1c. その他都道府県からの来訪者の主な立ち寄り先

日程	年齢	1日目	2日目	3日目	旅行相手	交通手段
日帰り	40歳代	大滝村			単独	マイカー
日帰り	50歳代	御岳山マラソン			単独	マイカー
1泊2日	60歳代	木曾・開田高原	赤沢高原		夫婦	マイカー
1泊2日	50歳代	○開田高原	赤沢		夫婦	マイカー
1泊2日	40歳代		○寝覚の床		家族(子連れ)	マイカー
1泊2日	30歳代	赤沢	○奈良井		家族(大人のみ)	マイカー
1泊2日	40歳代	○木曾から伊那	茅野から山梨		夫婦	マイカー
1泊2日	70歳以上	白樺湖			家族(大人のみ)	マイカー
1泊2日	50歳代	○奈良井宿	ビーナスライン		夫婦	マイカー
1泊2日	60歳代	富士五湖	○松原湖		夫婦	マイカー
1泊2日	40歳代		○御岳山マラソン		家族(子連れ)	マイカー
1泊2日	40歳代	紅葉湖	赤沢森林、奈良井宿		家族(子連れ)	マイカー
1泊2日	60歳代	○奈良井宿			夫婦	マイカー
1泊2日	50歳代	王滝、御岳	開田高原		知人友人	マイカー
1泊2日	50歳代	木曾福島	○かざり		知人友人	鉄道(JR)
1泊2日	40歳代	高山、白川郷	○		家族(子連れ)	マイカー
1泊2日	50歳代	木曾福島	○		知人友人	マイカー
1泊2日	60歳代	飛騨、高山	○木曾		家族(大人のみ)	マイカー
1泊2日	50歳代	宿場町、福島駅	○七福神、牧場		知人友人	鉄道(JR)
2泊3日	30歳代	仕事	上高地	○乗鞍	カップル(未婚)	マイカー
2泊3日	30歳代	仕事	上高地	○乗鞍	カップル(未婚)	マイカー
2泊3日	50歳代	大滝(マラソン)	○		知人友人	マイカー
2泊3日	60歳代	王滝			知人友人	マイカー
2泊3日	40歳代	王滝			知人友人	マイカー
3泊4日以上	60歳代	松本	赤沢自然公園	○開田	知人友人	マイカー

の方が県内からの来訪者よりも滞留時間が長くなっているようだ。

旅行相手を単純集計した結果は全155人の内、

友人知人(44人、28.4%)、家族(子連れ)(37人、23.9%)、夫婦(32人、20.6%)、家族(大人のみ)(20人、12.9%)の順であった。

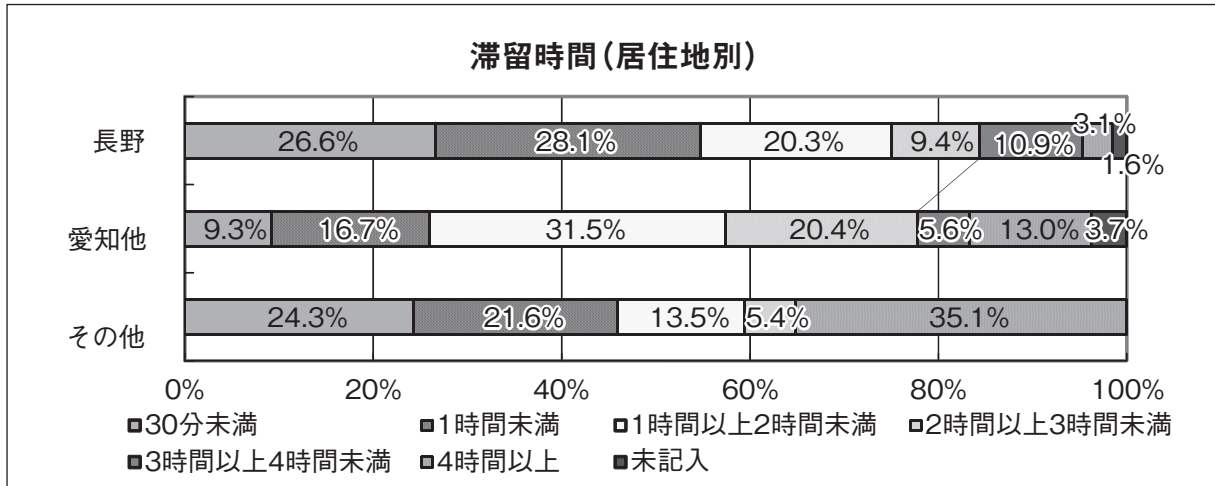


図5. 来訪者の滞留(予定)時間

旅行相手を居住地別に集計した結果を〈図6〉に示す。長野県内からの来訪者の旅行相手は、家族(子連れ) 31.3% (20人)、友人知人25.9% (14人)、家族(大人のみ) 12.5% (8人)、夫婦10.9% (7人)、単独9.4% (6人)の順となっている。愛知他2県からの来訪者の旅行相手は、夫婦29.6% (16人)、友人知人25.5% (24人)、家族(子連れ) 20.4% (11人)、家族(大人のみ) 14.8% (8人)、カップル(未婚) 7.4% (4人)の順で、その他都道府県からの来訪者は友人知人35.1% (13人)、夫婦24.3% (9人)、家族(子連れ) 16.2% (6人)、単独8.1% (3人)の順となっている。

4. 主な交通手段と旅行のルート

来訪者の主な交通手段を〈図7〉に示す。長野県内からは、マイカー78.1% (50人)、観光バス15.6% (10人)、その他6.3% (4人)の順であった。その他

に対する記述は路線バス、レンタカー、マイクロバス各1であった。

愛知他2県からは、マイカー85.2% (46人)、鉄道(JR) 11.1% (6人)、バイクと自転車がともに1.7% (1人)の順であった。その他都道府県からは、マイカー86.5% (32人)、鉄道(JR) 10.8% (4人)、バイク2.7% (1人)の順であった。

来訪者の木曾町に至るルートに関する集計結果(複数回答)を〈図8a〉に示す。長野県からの来訪者は、塩尻方面から53.1% (34人)、伊奈方面から23.4% (15人)、中津川方面から9.4% (6人)の順であった。その他3.1% (2人)に対する記述は、「乗鞍高原」1であった。

愛知他2県からの来訪者は、中津川方面から72.2% (39人)、塩尻方面から11.1% (6人)、その他7.4% (4人)、高山方面から5.6% (3人)の順であった。その他に対する記述は、「名古屋」2、「浜松か

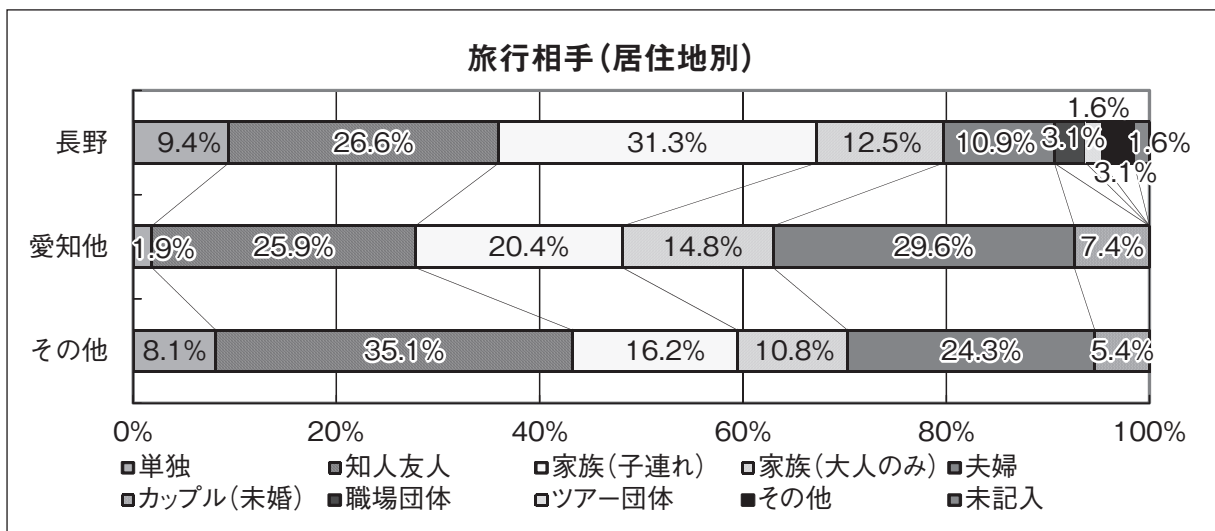


図6. 来訪者の旅行相手

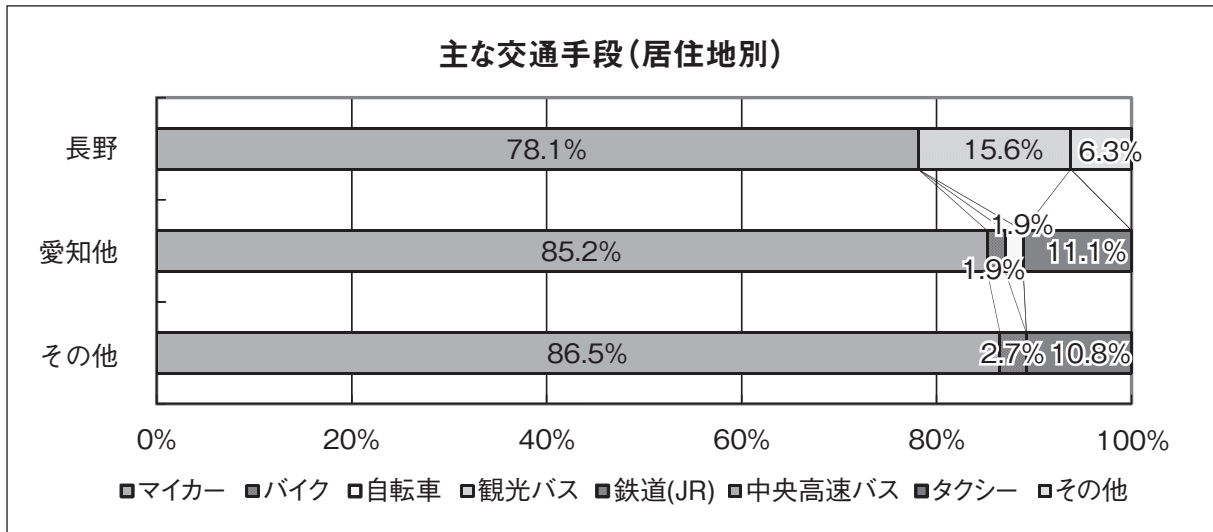


図7. 来訪者の主な交通手段

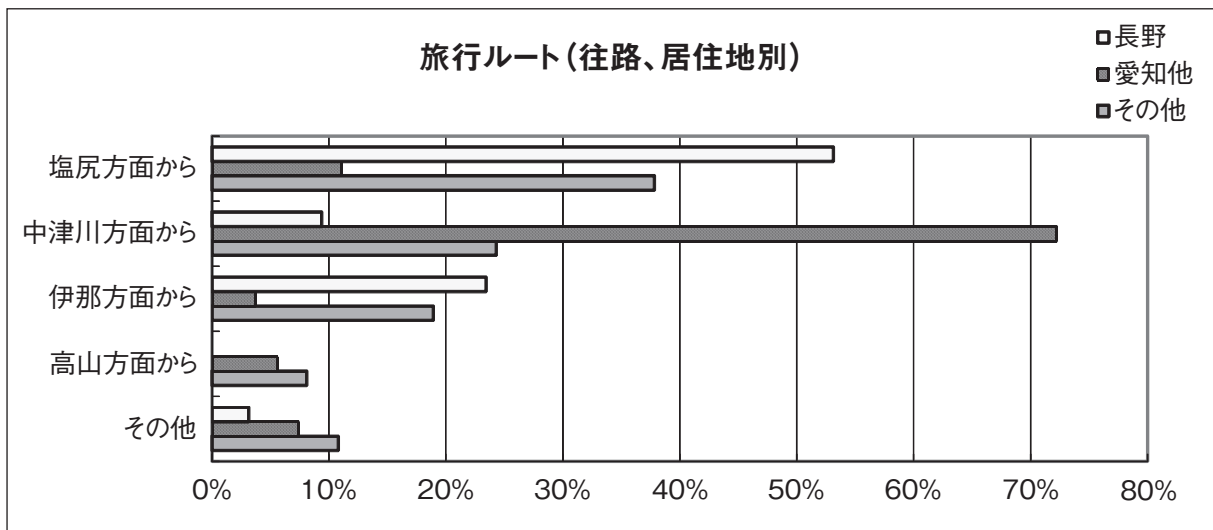


図8 a. 木曾町に至るルート

ら開田高原」1であった。

その他都道府県からの来訪者は、塩尻方面から37.8% (11人)、中津川方面から24.3% (9人)、伊那方面から18.9% (7人)、その他10.8% (4人)、高山方面から8.1% (3人) の順であった。その他に対する記述は「伊那・中央道 東京より」1、「諏訪」1、「中央道」1であった。

来訪者の木曾町からの帰路のルートに関する集計結果を〈図8b〉に示す。長野県からの来訪者は、塩尻方面へ50.0% (32人)、伊那方面へ18.8% (12人)、中津川方面へとその他がともに3.1% (2人) の順であった。その他に対する記述は、「長野」1であった。

愛知他2県からの来訪者は、中津川方面へ63.0% (34人)、伊那方面へ7.4% (4人)、高山方面へ5.6%

(3人)、その他3.7% (2人)、塩尻方面へ1.9% (1人) の順であった。その他に対する記述は、「名古屋」2であった。

その他都道府県からの来訪者は、塩尻方面へ29.7% (11人)、中津川方面へ24.3% (9人)、伊那方面へ21.6% (8人)、高山方面へ2.7% (1人)、その他2.7% (1人) の順であった。その他に対する記述は「立科」1であった。

次に、来訪者の主な旅行ルート(往路と帰路)を調べてみる。長野県からの来訪者で、塩尻方面から来訪した32人の帰路は、塩尻方面29人、中津川方面、伊那方面、その他が各1人であった。伊那方面から来た(権兵衛トンネルと通ってきたと思われる)15人の帰路は、伊那方面10人、塩尻方面1人であった。中津川方面から来た6人の帰路は、塩尻方

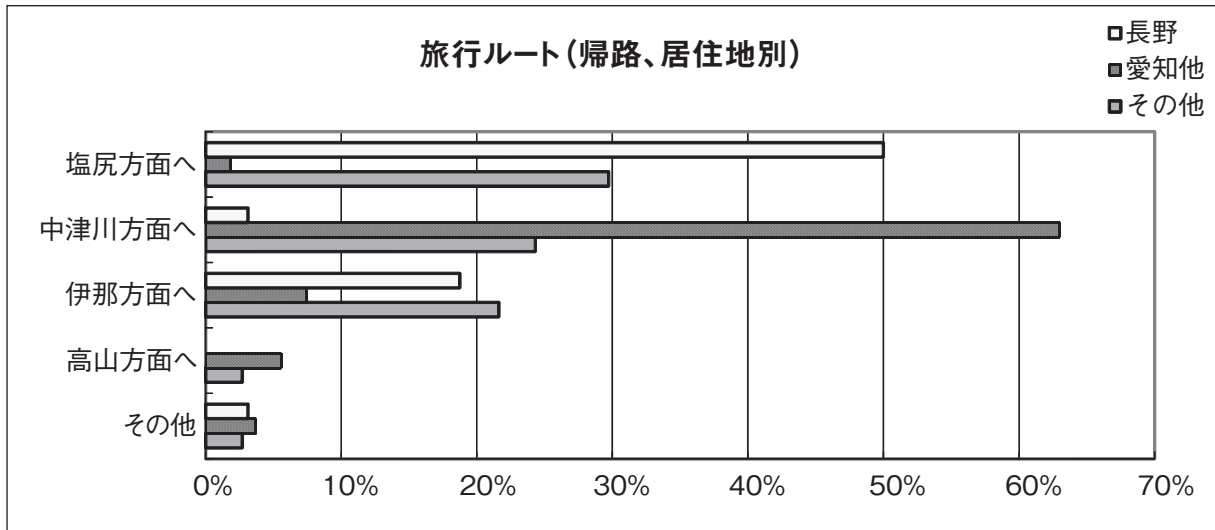


図8b. 木曾町からの帰路のルート

面3人、中津川方面1人であった。

愛知他2県からの来訪者で、往路中津川方面からの39人の帰路は、中津川方面30人、伊那方面3人、高山方面2人、その他2人であった。往路伊那方面からの4人の帰路は、伊那方面1人、高山方面1人であった。往路高山方面からの3人の帰路は、中津川方面2人であった。

その他都道府県からの来訪者で、往路塩尻方面からの11人の帰路は、塩尻方面8人、伊那方面3人(そのうち1人はその他として立科も記入)であった。往路中津川方面からの9人の帰路は、中津川方面6人、高山方面1人であった。往路伊那方面からの8人の帰路は、伊那方面5人、塩尻方面1人であった。

5. 現在地への来訪回数と来訪目的

現在地(木曾福島地区、道の駅日義木曾駒高原、または開田高原)への来訪回数を〈図9〉に示す。長野県内からの来訪者は、10回以上50.0%(32人)、3~5回23.4%(15人)、はじめて10.9%(7人)、2回目7.8%(5人)、6~9回6.3%(4人)の順となっている。6回以上のリピータが56.3%(36人)、2回以下が18.8%(12人)であった。2011年の調査よりも6回以上の割合が約17ポイント増加し、2回以下が約11ポイント減少している。

愛知他2県からの来訪者は、10回以上が46.3%(25人)、2回目16.7%(9人)、6~9回14.8%(8人)、はじめてが13.0%(7人)、3~5回9.3%(5人)の順であった。6回以上のリピータが61.1%(33人)、2回以下が29.6%(16人)を占めている。2011年の調査よ

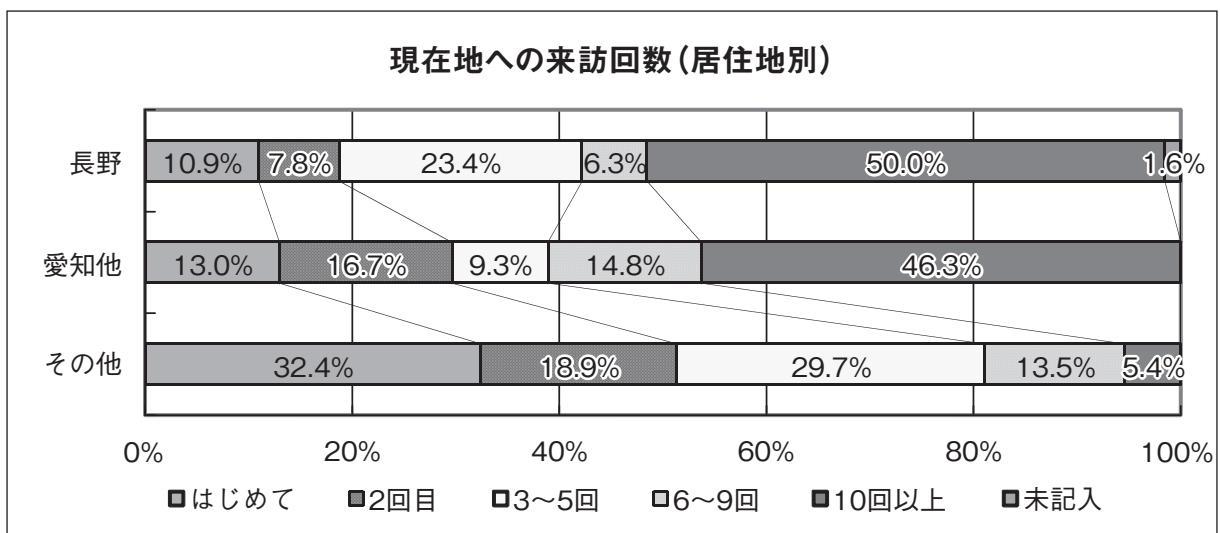


図9. 木曾町(現在地)への来訪回数

りも6回以上割合が約16ポイント増加し、2回以下の割合が約7ポイント減少している。

その他都道府県からの来訪者は、はじめて32.4% (12人) が最も多く、3~5回29.7% (11人)、2回目18.9% (7人)、6~9回13.5% (5人) の順となっている。6回以上のリピーターは18.9% (7人)、2回以下が51.4% (19人) を占めている。2011年の調査よりも6回以上の割合はほとんど変わらず、2回以下が約17ポイント減少している。

天候不順の影響が、長野県と愛知他2県の6回以上のリピーターの割合の増加および長野県、愛知他2県とその他都道府県の2回以下の来訪者の比率の減少として現れていると思われる。2回以下の来訪者の比率は前年の調査結果と同様に、その他都道府県が最も高くなっている。

現在地を訪れた目的 (3つまで選択) は、単純集計では、紅葉狩り (75人、48.4%)、ドライブ (41人、26.5%)、温泉 (含足湯) (40人、25.8%)、飲食 (37人、23.9%)、自然の風景 (30人、19.4%)、その他 (26人、16.8%)、産地直売品・お土産 (19人、12.3%) の順であった。

居住地域別 (〈図10〉参照) に見ると、長野県からの来訪者の目的は、紅葉狩り35.9% (23人)、飲食32.8% (21人)、ドライブと温泉 (含足湯) がともに21.9% (23人)、その他20.3% (13人)、産地直売

品・お土産15.6% (10人)、自然の風景14.1% (9人) の順であった。飲食に対する具体的記述は、蕎麦7人、アイスクリーム2人、昼食2人、山栗1人であった。その他に対する記述 (10人) は、蕎麦2人、恩師に会いに来た1人、買い物1人、休憩1人、実家1人、人情の良さ1人、イベント1人、店を見るため1人であった。

愛知他2県は、紅葉狩り63.0% (34人)、ドライブ31.5% (17人)、温泉 (含足湯) 27.8% (15人)、飲食20.4% (11人)、産地直売品・お土産16.7% (9人)、自然の風景14.8% (8人) の順であった。飲食に対する記述は蕎麦9人 (くるまや2人、すんきそば1人を含む)、アイスクリーム3人 (ソフトクリーム1人を含む) であった。その他に対する記述 (9人) は、蕎麦打ち1人、ゴルフ1人であった。

その他都道府県は、紅葉狩り48.6% (18人)、自然の風景32.4% (12人)、温泉 (含足湯) 29.7% (11人)、ドライブとその他がともに27.0% (10人)、飲食13.5% (5人)、木曾馬牧場8.1% (3人) の順であった。

飲食に対する記述は蕎麦3人 (とうじそば1人を含む)、きのこ狩り1人であった。その他に対する記述は、マラソン5人、イベント参加1人、きのこ狩り1人、仕事1人、大会1人、登山1人、能楽公演1人であった。

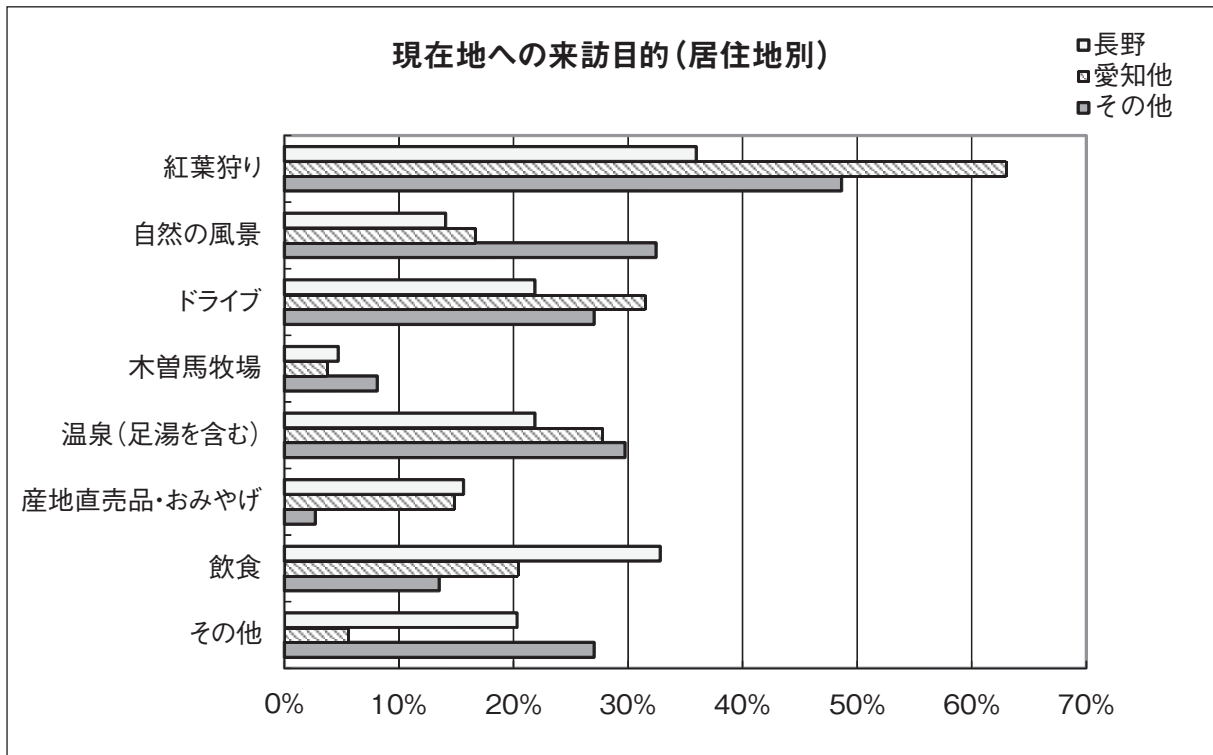


図10. 木曾福島地区を来訪した目的

6. 今回の旅行で訪れた、または訪れる予定の場所

今回の旅行で訪れた場所(訪れる予定の場所を含む)(5つまで解答可)に対する単純集計の結果を〈表2〉に示す。

10位までに、

- (1) 御嶽山とその周辺:開田高原(含九蔵峠展望台)(第1位36人、23.2%)、木曾馬の里(第3位25人、16.1%)、御嶽山(第10位14人、9.0%)
- (2) 道の駅:道の駅木曾福島(第5位20人、12.9%)、道の駅日義木曾駒高原(第5位20人、12.9%)
- (3) 宿場町:奈良井宿(第2位27人、17.4%)、妻籠(第10位14人、9.0%)
- (4) 福島地区:福島関所(第8位17人、11.0%)、山村代官屋敷(第9位16人、10.3%)

が含まれている。他に、寝覚の床(第3位25人、16.1%)、その他(第8位17人、11.0%)が10位以内に入っている。回答数は1人当たり2.17であった。

居住地別に「訪れた、または訪れる予定の場所」を集計した結果を〈図11〉に示す。長野県からの来訪者は、開田高原(含九蔵峠展望台)と寝覚の床がともに18.8%(12人)、道の駅日義木曾駒高原17.2%(11人)、その他12.3%(10人)、木曾馬の里、奈良井宿および道の駅木曾福島がともに10.9%(7人)、木曾くらしの工芸館9.4%(6人)、道の駅三岳7.8%(5人)の順となっている。その他には、「おんたけ湖マラソン」2(「王滝マラソン」1を含む)、「蕎麦」2、以下は各1で、「開田高原のアイスクリーム工房」、「霧しなそば店」、「くるまや」、「ささらぎ温泉」、「大喜泉」、「田ぐち」、「二本木温泉」、「松

原スポーツ公園」が挙げられていた。

愛知他2県は、開田高原(含九蔵峠展望台)31.5%(17人)、道の駅木曾福島20.4%(11人)、道の駅大桑(木楽舎)、御嶽山および木曾馬の里がともに13.0%(7人)、奈良井宿、福島関所、山村代官屋敷、寝覚の床およびその他がともに11.1%(6人)の順であった。その他に、「蕎麦屋」2、「温泉」、「木曾駒高原カントリー」、「濁河温泉」、「二本木温泉」、「旅館」、「山」が挙げられていた。

その他都道府県は、奈良井宿37.8%(27人)、木曾馬の里29.7%(11人)、妻籠宿21.6%(8人)、開田高原(含九蔵峠展望台)、福島関所、寝覚の床および山村代官屋敷がともに19.2%(9人)、馬籠宿(藤村記念館)16.2%(6人)、赤沢自然休養林13.5%(5人)上の段の街並み10.8%(4人)であった。その他には、「アイスクリーム」、「御岳湖」、「蕎麦」が記述されていた。

7. 情報収集の方法と求める地域情報

現在地(木曾福島地区、開田高原または道の駅日義木曾駒高原)に関する情報収集手段(3つまで選択)は、単純集計では以前に来た(73人、47.1%)、観光パンフレット(21人、13.5%)、その他(19人、12.3%)、インターネットと口コミがともに(17人、11.0%)、ここではじめて(15人、9.7%)、ガイドブック(13人、8.4%)の順であった。

居住地域別に情報収集の方法を集計した結果を〈図12〉に示す。長野県内からの来訪者は、以前に来た56.3%(36人)、口コミ17.2%(11人)、その他10.9%(7人)、観光パンフレット9.4%(6人)、沿道

表2. 今回の旅行で訪れる場所(予定を含む)

順位	項目	度数	%	順位	項目	度数	%
1	開田高原(含九蔵峠展望台)	36	23.2%	15	馬籠宿(藤村記念館)	9	5.8%
2	奈良井宿	27	17.4%	15	道の駅大桑(木楽舎)	9	5.8%
3	寝覚の床	25	16.1%	15	やまゆり荘	9	5.8%
3	木曾馬の里	25	16.1%	15	上の段の街並み	9	5.8%
5	道の駅木曾福島	20	12.9%	19	木曾駒高原	5	3.2%
5	日義・木曾駒高原道の駅	20	12.9%	19	興禅寺	5	3.2%
7	その他	19	12.3%	21	彩葉館	4	2.6%
8	福島関所	17	11.0%	21	義仲館	4	2.6%
9	山村代官屋敷	16	10.3%	23	藪原宿	3	1.9%
10	妻籠宿	14	9.0%	24	ふるさと体験館きそふくしま	2	1.3%
10	御嶽山	14	9.0%	24	やぶはら高原	2	1.3%
12	赤沢自然休養林	13	8.4%	24	平沢漆器街	2	1.3%
12	道の駅三岳	13	8.4%	27	桃介橋	1	0.6%
14	木曾暮らしの工芸館	12	7.7%	27	鳥居峠	1	0.6%
					合計	336	218.5%

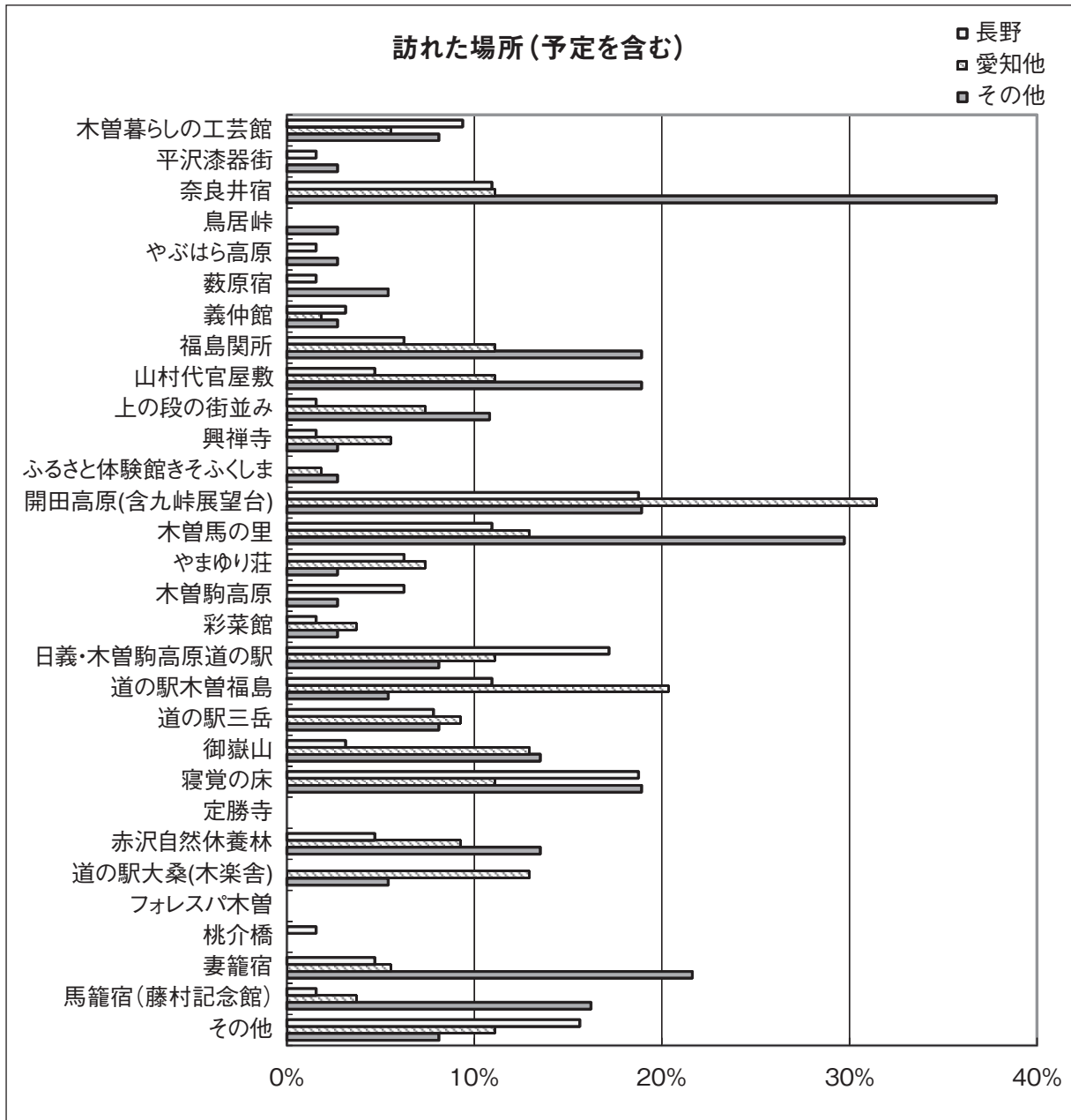


図11. 今回の旅行で訪れた、または訪れる予定の場所

沿いの看板とここではじめてがともに6.3% (4人)の順であった。その他を記述した人は、「実家」、「通過しているの」、「出来たときから知っている」、「時々通う」、「友人」が各1で、以前に来た、または口コミに分類できる内容であった。

愛知他2県は、以前に来た50.0% (27人)、インターネットと観光パンフレットがともに13.0% (7人)、ガイドブックと口コミがともに11.1% (6人)、ここではじめて9.3% (6人)の順であった。その他に対する記述は「スキー場」、「友人」が各1であった。

その他都府県は、以前に来た27.0% (10人)、その他24.3% (9人)、インターネットと観光パンフレッ

トがともに21.6% (8人)、ここではじめて16.2% (6人)、ガイドブック10.8% (4人)、沿道の看板8.1% (3人)の順であった。その他に対する記述は、「昨年来たから」、「昨年マラソン」、「知人」、「地図」、「マラソン」が各1であった。

情報収集の手段として、どの居住地域からの来訪者も「以前に来た」が第1位となっている。その他都道府県は「以前に来た」割合が24.3%に留まっているが、長野県と愛知他2県の割合は50%以上となっている。「以前に来た」が第1位となっていることは天候が雨模様で肌寒かったことが影響しているかもしれないが、長野県と愛知他2県からの来訪

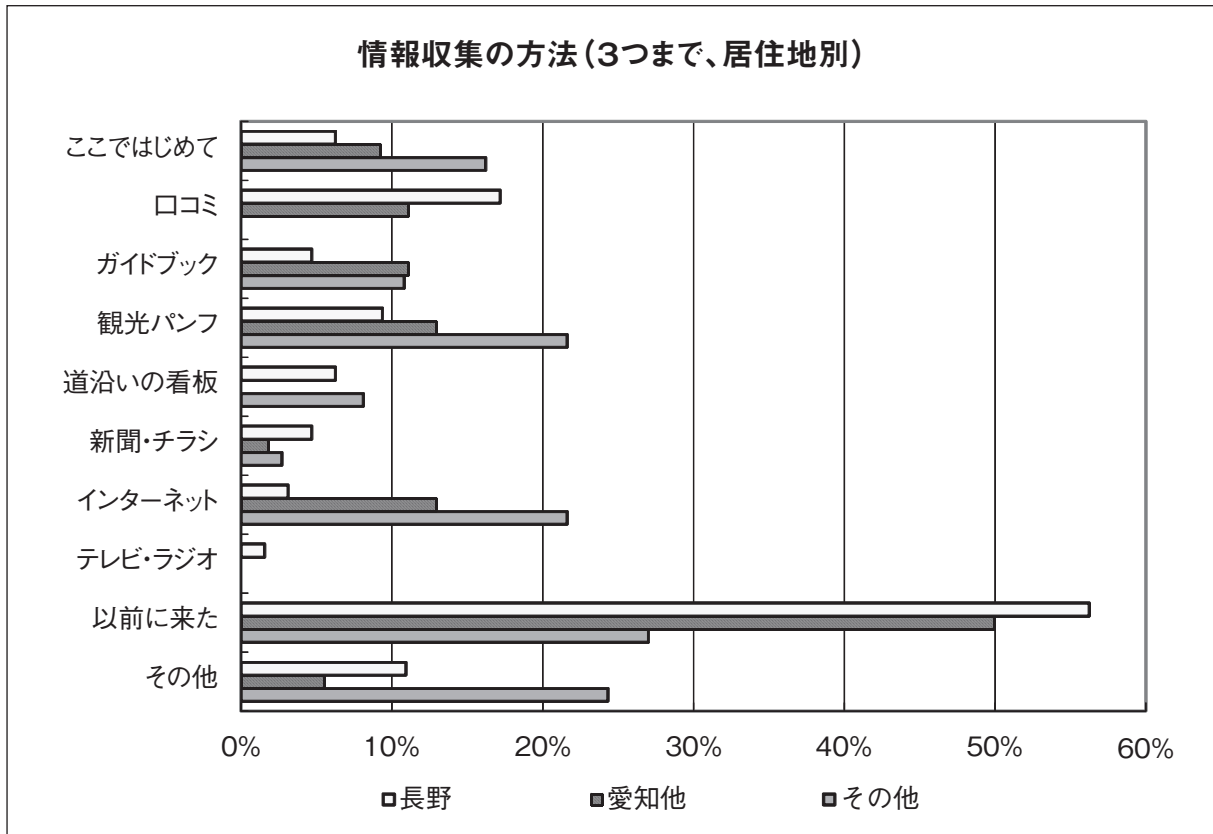


図12. 木曾福島地区の情報収集手段

者にリピーターが多いことを示している。

愛知他2県とその他都道府県は、「インターネット」と「観光パンフ」が3位以内に入っている。行事予定をこれらを使って確かめると共に、天候のなり行きを「インターネット」で頻繁にチェックしていたのかもしれない。

この地域に関するほしい情報を単純集計した結果は、食事の楽しめる場所(78人、50.3%)、温泉施設(51人、32.9%)、季節のイベントや催し(43人、27.7%)、農産物直売所(41人、22.5%)、自然にふれあえる場所(40人、25.8%)、ドライブコース・道路(27人、17.4%)の順であった。

居住地別にこの地域に関するほしい情報を集計した結果を〈図13〉に示す。長野県は、食事の楽しめる場所51.6%(33人)、温泉施設35.9%(23人)、農産物直売所25.0%(16人)、季節のイベントや催し21.9%(14人)、自然にふれあえる場所18.8%(12人)、ドライブコース17.2%(11人)の順になっている。

愛知県他2県は、食事の楽しめる場所50.0%(27人)、季節のイベントや催し31.5%(17人)、温泉施設29.6%(16人)、自然にふれあえる場所25.9%(14人)、農産物直売所22.2%(12人)、ドラ

イブコース118.5%(10人)の順になっている。

その他都道府県は、食事の楽しめる場所48.6%(18人)、自然にふれあえる場所37.8%(14人)、農産物直売所35.1%(13人)、温泉施設と季節のイベントや催しがともに32.4%(12人)、ドライブコース・道路16.2%(6人)の順になっている。

8. 旅行予算とお土産代

旅費と宿泊費を除く旅行の一人当たりの予算を〈図14〉に示す。〈図2〉の旅行日程のグラフからわかるように、長野県内からの来訪者、愛知他2県からの来訪者、その他都道府県からの来訪者の順に宿泊を伴う割合が高くなっている。さらに、その他都道府県の方が愛知他2県よりも連泊する比率が高い。これらの旅行日程を反映して、長野県内、愛知他2県、その他都道府県の順に旅行予算が増加していると考えられる。

旅行予算の平均値を予算額の区間の中央値を用いて計算してみる。例えば、長野県では、予算が5,000円以上10,000円未満の人が37.5%いるが、これらの人がすべて、 $(5,000+10,000)/2=7,500$ 、すなわち7,500円使ったとして平均値を求める。ただし、5,000円未満の区間の中央値として2,500円、

20,000円以上の区間の中央値として25,000円を用いることにする。さらに、未記入データを除いて計算する。

旅行予算の平均値は、長野県からの来訪者は約5,500円、愛知他2県からの来訪者は約10,600円、其他都道府県からの来訪者は約13,700円であった。

旅費と宿泊費を除く旅行の一人当たりの予算の中に含まれる、お土産代の集計結果を〈図15〉に示す。長野県内からの来訪者は、2千円未満46.9% (39人)、2千円以上4千円未満29.6% (24人)と4千円未満が76.5%を占め、4千円以上は8.6%となっ

ている。

愛知他2県からの来訪者は、2千円未満23.5% (22人)、2千円以上4千円未満38.3% (36人)と4千円未満が61.7%を占め、4千円以上は31.9% (30人)であった。其他都道府県からの来訪者は、2千円未満17.3% (9人)、2千円以上4千円未満36.5% (19人)と4千円未満が53.8%を占め、4千円以上は38.5% (20人)であった。長野県外からの来訪者の方が県内からの来訪者よりもお土産代は多いよう

だ。
2,000円未満の区間の中央値を1,000円、10,000円以上の区間の中央値を15,000円として、未記入

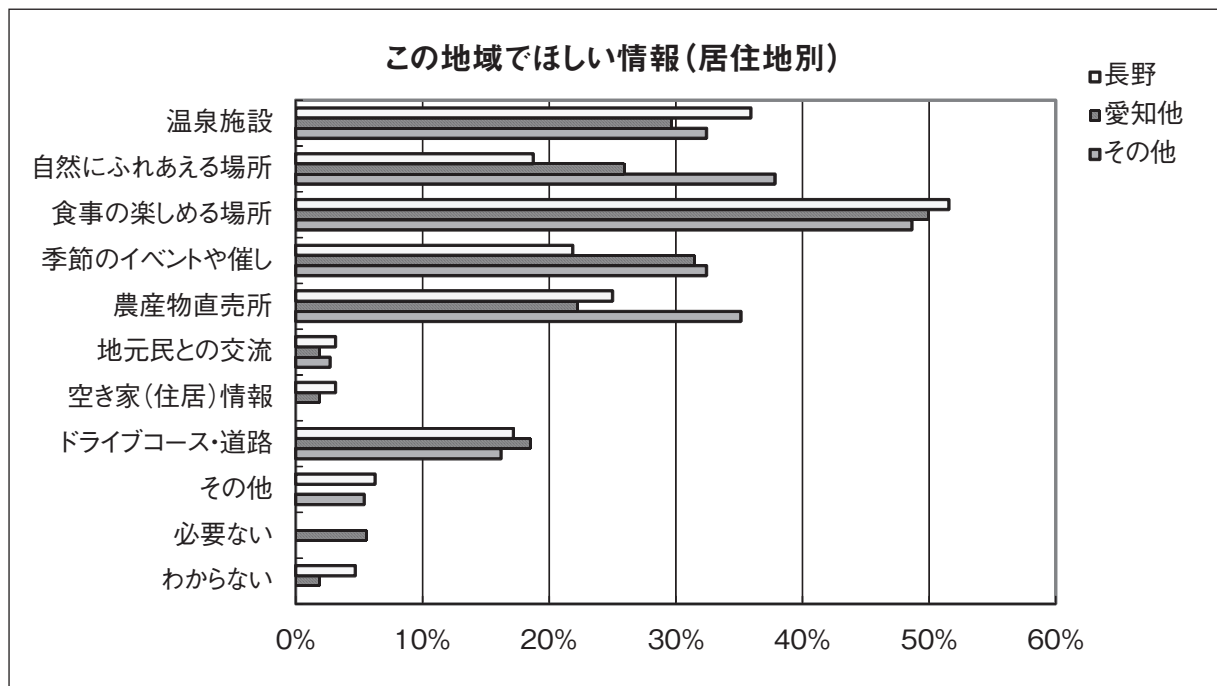


図13. この地域に関するほしい情報

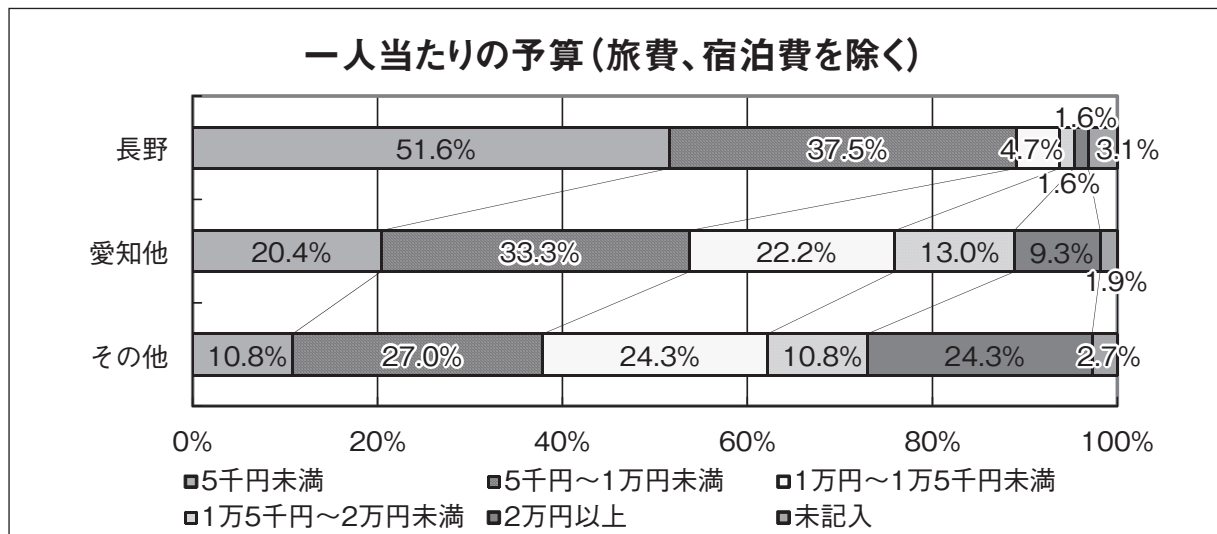


図14. 旅費、宿泊費を除いた旅行の予算

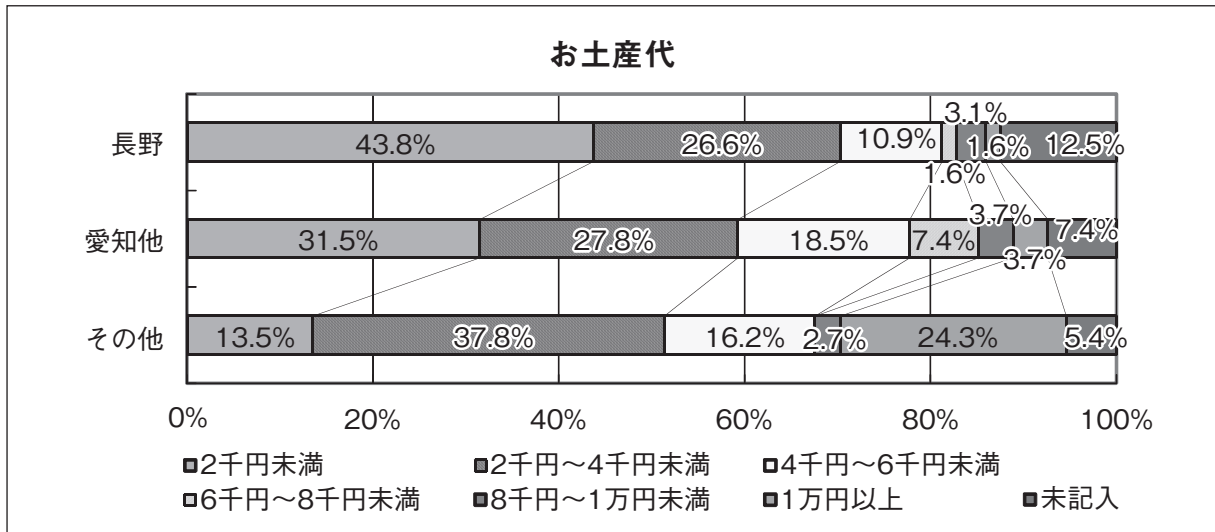


図15. お土産代

のデータを除いて、お土産代の居住地別平均値を求めてみる。

長野県からの来訪者は約2,700円、愛知他2県からの来訪者は約3,800円、その他都道府県からの来訪者は約6,300円であった。

9. お土産として購入したものと探しているもの

木曾地域を訪れる観光客がどのようなものをお土産品として求めているかを知るために、購入したお土産品とお土産としてどんなものを探しているかについて記述していただいた。購入したお土産品を〈表3a〉にあげる。

お土産として購入したものの中に、「蕎麦」、白菜やとうもろこしなどの「野菜」、「きのこ」、「林檎」等果物、「漬物」、「すんき」など地場の農産物、「栗子餅」、「栗きんとん」、「蕎麦まんじゅう」等のお菓子類、「漆器」、「箸」等の特産品、「五平餅」や「酒」、それに「アイスクリーム」、「ヨーグルト」、「チーズ」などの乳製品が挙げられている。

お土産として探しているものを〈表3b〉にあげる。長野県は、「美味しいもの」3、「蕎麦」3、「山菜」2、「地元産」2の順になっている。愛知他2県は、「美味しくて珍しいもの」1と「美味しそうなもの」1を含めて「美味しいもの」5、「地元産」2の順となっている。その他都道府県では、「木曾地区独自のもの」3、「農産物(美味しい野菜1を含む)」3、「お菓子」2、「地元の特産品」2の順となっている。

いずれの地域からの来訪者も「特産品」とその類似表現を多数あげている。これらの表現で、〈表3a〉に挙げられているものでもよく知られていないもの、または、〈表3a〉には含まれていない、木曾

らしい何か>を探し求めていることを表しているのかもしれない。

お土産品がどこで製造されたか(製造元)を調べた上で購入するかの間に対する集計結果を〈図16〉に示す。注意する(はい)と答えた人は、長野県約40.6%(26人)、愛知他2県約29.6%(16人)、その他都道府県約45.9%(17人)であった。

製造元に注意するかの間に対して「はい」と答えた人の理由(記述)を〈表4〉に示す。

「いいえ」と答えた理由を記述してくださった人は、長野県は2人で「安心できる」と「どうでもよい」、その他都道府県は1人で「こだわらないから」であった。

10. おいしかったもの

木曾地域で飲食してみておいしかったもの(5つまで選択)を単純集計した結果は、第1位アイスクリーム(40人、41.9%)、第2位とうじそば(36人、25.8%)、第3位すんきそば(36人、23.2%)、第4位赤かぶ漬け(28人、18.1%)、第5位そばまんじゅう(26人、16.8%)、第6位栗子餅(25人、16.1%)、第7位とうもろこし(23人、14.8%)、第8位エゴマの五平もちとその他がともに(21人、13.5%)、第10位きのこ(鍋)とほおば巻きがともに(21人、13.5%)、第12位木曾牛コロッケ(14人、9.0%)の順であった。

居住地域別に飲食してみておいしかったものを集計した結果を〈図17〉に示す。長野県は、第1位アイスクリーム39.1%(25人)、第2位すんきそば34.4%(22人)、第3位とうじそばと栗子餅がともに25.0%(16人)、第5位そばまんじゅうとほおば巻きがともに20.3%(13人)、第7位木曾牛コロッケ17.2%(11

人)、第8位エゴマの五平もち15.6% (10人)、第9位赤かぶ漬けときのか(鍋)がともに12.5% (8人、)の順であった。

愛知他2県では、第1位アイスクリーム40.7% (22人)、第2位とうじそば31.5% (17人)、第3位とうも

ろこし20.4% (11人)、第4位そば赤かぶ漬け、まんじゅうおよびすんきそばがともに18.5% (10人)、第7位その他18.5% (13人)、第8位エゴマの五平餅ときのか(鍋)がともに11.1% (6人)、第10位栗子餅とほおば巻きがともに9.3% (5人)の順であった。

表3a. お土産として購入したもの

長野県		愛知他2県		その他都道府県	
品目	度数	品目	度数	品目	度数
栗子餅	6	林檎	6	蕎麦	7
蕎麦	5	蕎麦	5	お菓子	5
アイスクリーム	4	野菜	3	果物	4
かりんとう	2	お菓子	2	林檎	3
きのこ	2	きのこ	2	アイスクリーム	2
五平餅	2	栗きんとん	2	きのこ	2
コロッケ	2	栗子餅	2	クッキー	2
漆器	2	葡萄	2	栗きんとん	2
蕎麦粉	2	最中	2	和菓子	2
そば饅頭	2	ヨーグルト	2	農産物	2
饅頭	2	酒	2	おもちゃ	1
野菜	2	アイスクリーム	1	からすみ	1
甘栗	1	おやき	1	栗子餅	1
甘酒	1	御嶽もなか	1	コーンフレート	1
おやつ	1	かのか	1	御当地チョコパー	1
カブ	1	クッキー	1	さるぼぼ	1
からすみ	1	新蕎麦	1	山菜	1
木曾檜のスプーン	1	すんき	1	煎餅	1
牛串	1	そば饅頭	1	チーズ	1
靴ベラ	1	漬物	1	漬物	1
栗きんとん	1	土地の土産	1	とうもろこし	1
黒豆	1	野沢菜	1	農作物	1
コロッケ(木曾牛)	1	白菜	1	白菜	1
酒	1	花	1	饅頭	1
地元産	1	ほたるいかの干物	1	味噌	1
地元の野菜	1	饅頭	1	木製のスプーン	1
食品関係	1	みかん	1	木製品	1
そば煎餅	1	薬草	1	ヨーグルト	1
たれ	1	ようかん	1	五平餅	1
チーズ	1	ラスク	1	漆器	1
漬物	1			酒	1
とうもろこし	1			地元産物	1
とうもろこしのゴーフレッド	1			日本酒	1
どんぐりパン	1			箸	1
生蕎麦	1			百草丸	1
ねずこ下駄	1			味噌ラスク	1
ぶどう	1			野菜	1
本	1			檜油	1
松茸ご飯	1				
モンブラン	1				
ヨーグルト	1				
レモンケーキ(大村屋)	1				
味噌	1				
和菓子	1				

表3b. お土産として探しているもの

長野県		愛知他2県		その他都道府県	
品 目	度数	品 目	度数	品 目	度数
美味しいもの	3	美味しいもの	2	木曾地区独自のもの	3
蕎麦	3	地元産	2	お菓子	2
山菜	2	美味しくて珍しいもの	1	地元の特産品	2
地元産	2	美味しそうなもの	1	農産物	2
うどん	1	置物	1	美味しい野菜	1
かりんとう	1	栗子餅	1	温泉饅頭	1
キーホルダー	1	産地野菜など	1	可愛いもの	1
季節の食材	1	シラキ	1	きのこ	1
木曾ならではのもの	1	蕎麦	1	果物(リンゴ)	1
木曾檜の製品	1	食べ物	1	漆器	1
木の作品	1	珍しいもの	1	夫婦箸	1
栗	1	林檎	1	林檎	1
五平餅	1	梨	1	栗	1
地元のお菓子	1			自然薯	1
食品	1			美味しいもの	1
すんき	1			味噌	1
食べ物	1				
手作り	1				
土地の珍しいもの	1				
土地のもの	1				
みんなで楽しめるもの	1				

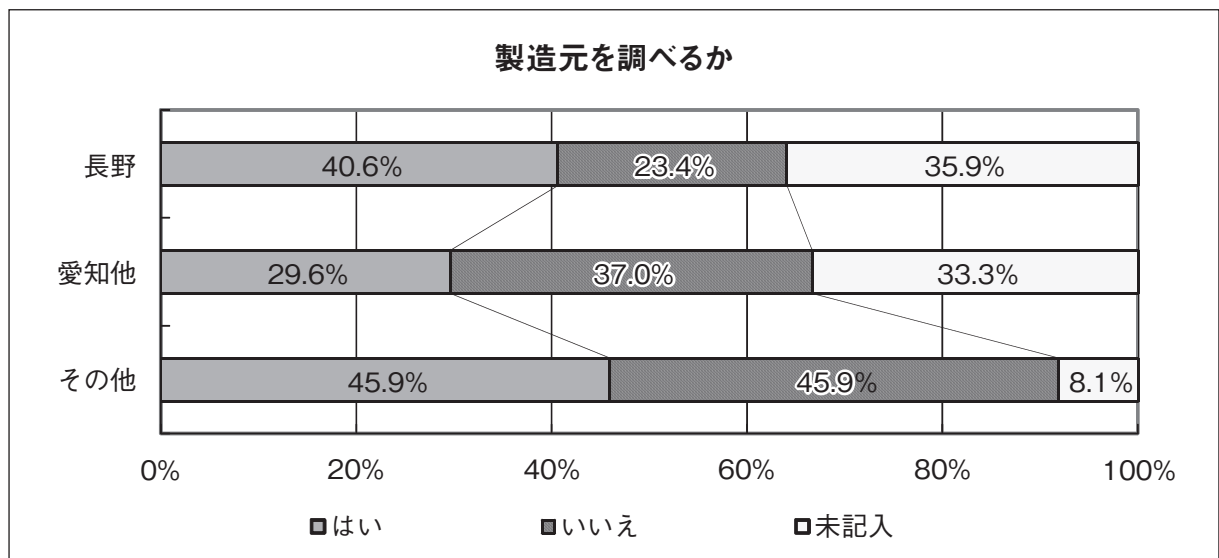


図16. お土産品の製造元

その他都道府県では、第1位アイスクリーム48.6% (18人)、第2位赤かぶ漬け27.0% (10人)、第3位とうじそばとその他がともに18.9% (7人)、第5位とうもろこしときのこ(鍋)がともに16.2% (6人)、第7位エゴマの五平餅13.5% (5人)、第8位栗子餅とすんきそばがともに10.8% (4人)、第10位そばまんじゅう8.1% (3人)の順であった。

飲食しておいしかったものの中で、その他に具体

的に記述していただいたものを〈表5〉に示す。どの居住地域の方も蕎麦(ざる蕎麦、きのこ蕎麦を含む)が一番多くなっている。

他にどんな(食材を使った)料理を食べてみたいですか(記述式質問)に対する回答を〈表6〉に示す。

どの居住地域からの来訪者も、「蕎麦」、「きのこ料理」に関心がある。それら以外に、長野県では、

表4. 製造元に注意する(はいと答えた)理由

長野県	愛知他2県	その他都道府県
安全 安心のため	美味しいから	安心感
以前買って美味しかった	地元産	地元産
御当地物	地元の物が欲しい	地元産
御当地物でないといけない	田ぐちさんを訪ねて来ました	地元産
老舗のもの	品質が確かだから	地元産の物
地元以外は嫌だから		地元のものを記念にしたいから
地元産		地産品を買いたい為
地元産じゃない場合があるから		中国産だったら嫌だから
地元で作られたものが望ましい		中国産とか他県産はいらない
信用が出来るから		前にも買ったから
その地の物がほしい		

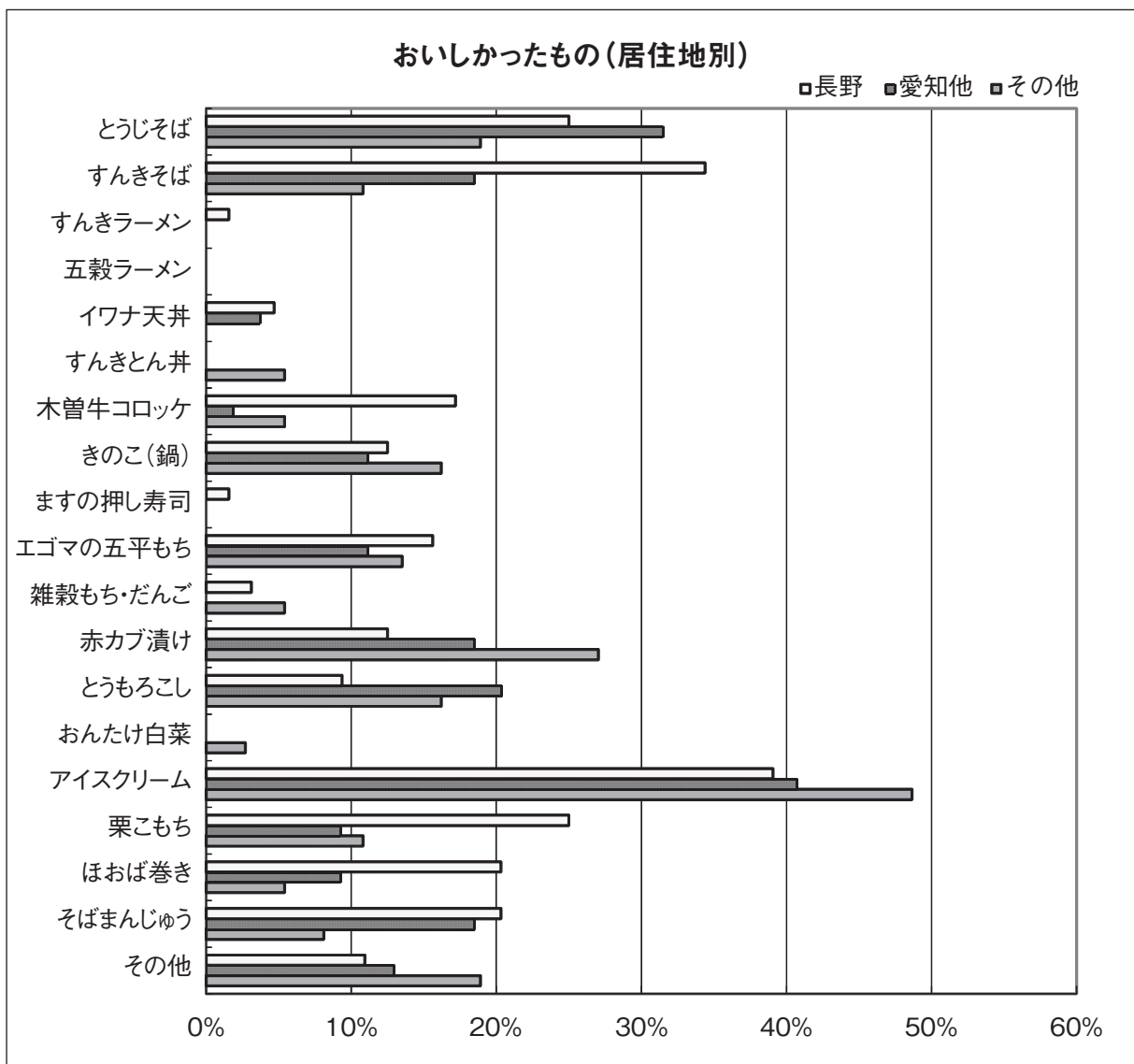


図17. 飲食しておいしかったもの

「すんき」3、「猪」2、「とうもろこし」2、「岩魚」や「信州サーモン」などの川魚料理、「木曾牛ステーキ」1、「木曾牛コロッケ」1他「木曾牛」を使った料

理、「そばガレット」等そば(粉)を使った料理が挙げられている。愛知他2県では、「鮎、岩魚などの川魚料理」、「ボタン鍋」(ジビエ料理?)、その他都

表5. その他に記述された飲食しておいしかったもの

長野県		愛知他2県		その他都道府県	
品目	度数	品目	度数	品目	度数
蕎麦	4	おやき	2	岩魚塩焼き	2
あまご	1	蕎麦	2	ざる蕎麦	2
木曾牛	1	五平餅	1	きのこ汁	1
ざる蕎麦	1	ざる蕎麦	1	きのこ蕎麦	1
とろろ	1	野沢菜	1	モンブラン	1
				野菜	1
				わさび	1

表6. 他にどんな(食材を使った)料理を食べてみたいですかにあげられた品目

長野県		愛知他2県		その他都道府県	
品目	度数	品目	度数	品目	度数
すんき	3	蕎麦	2	信州牛	2
猪	2	鴨蕎麦	1	アイスクリーム	1
とうもろこし	2	川魚(鮎、岩魚)等	1	猪	1
岩魚の塩焼き	1	きのこ	1	きのこ等の鍋	1
川魚	1	新蕎麦	1	きのこ料理	1
木曾牛コロッケ	1	すんきとん井	1	果物	1
木曾牛のステーキ	1	ぼたん鍋	1	山菜を使った料理 (田舎風と和風)	1
木曾牛や信州サーモンを使用した料理	1	ますの押し寿司	1	蕎麦	1
きのこ	1	焼きたてのパン	1	蕎麦料理	1
クッキー	1			地域限定のお弁当	1
五平餅	1			肉	1
地元でとれた野菜	1			リンゴを使用したもの	1
霜降りシメジ	1			味噌料理	1
すんきとん井	1				
蕎麦	1				
そばガレット	1				
そば粉 チヂミ	1				
肉	1				
松茸	1				
牛肉	1				

道府県では、「信州(木曾)牛」、「猪」、「山菜を使った料理」、「地域限定のお弁当」、「リンゴを使ったもの」などが挙げられている。

11. 木曾路の印象

木曾路の印象を〈図18〉に示す。よい印象を持った人は、長野県では85.9%、愛知他2県では85.2%、その他都道府県では81.2%であった。

理由を書いた方は、その他都道府県で「普通」の1人だけで、「ゴミなどがなくて綺麗、もう少し人が居ても良い(寂しい)」であった。

木曾町(木曾福島、道の駅日義木曾駒高原、または開田高原)にまた来たいかという問いに関する集計結果を〈図19〉に示す。是非来たいと機会

があれば来たいを合計すると、長野県92.2%、愛知他2県96.3%、その他都道府県92.0%で、どの居住地域からの来訪者も木曾地区には好印象を持っていることがわかる。

最後に「日本の美しい村連合」を知っているか尋ねた結果を〈図20〉に示す。知っていると答えた人は、長野県は29.7%で昨年の調査よりも約4ポイント増加、愛知他2県は16.7%で昨年よりも約13ポイント増加、その他都道府県は16.2%で昨年よりも10ポイント増加している。長野県外の人にも少しずつ「日本の美しい村連合」の情報が伝わりつつあるようだ。

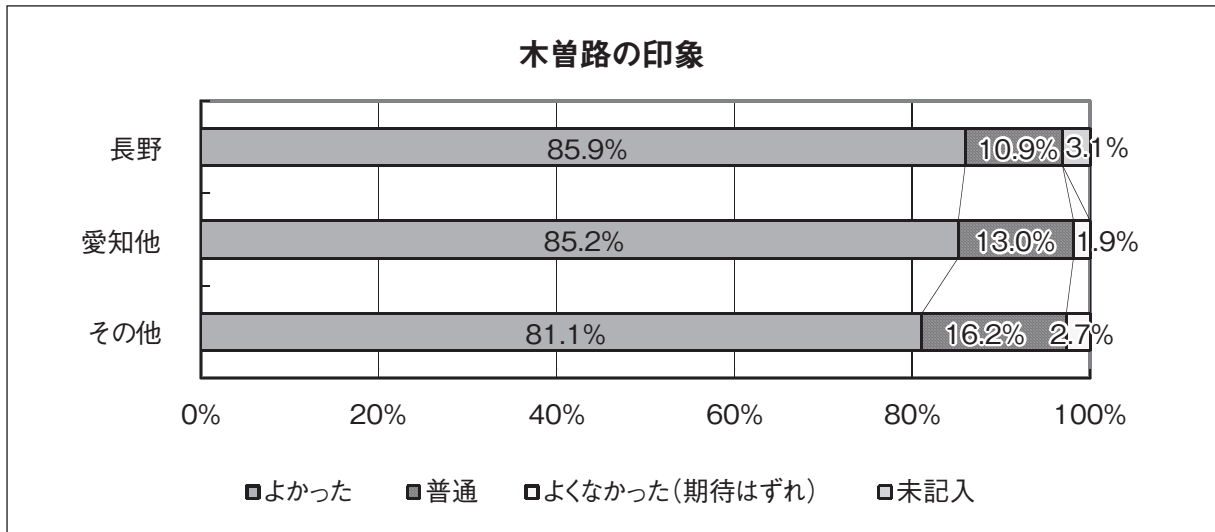


図18. 木曽路の印象

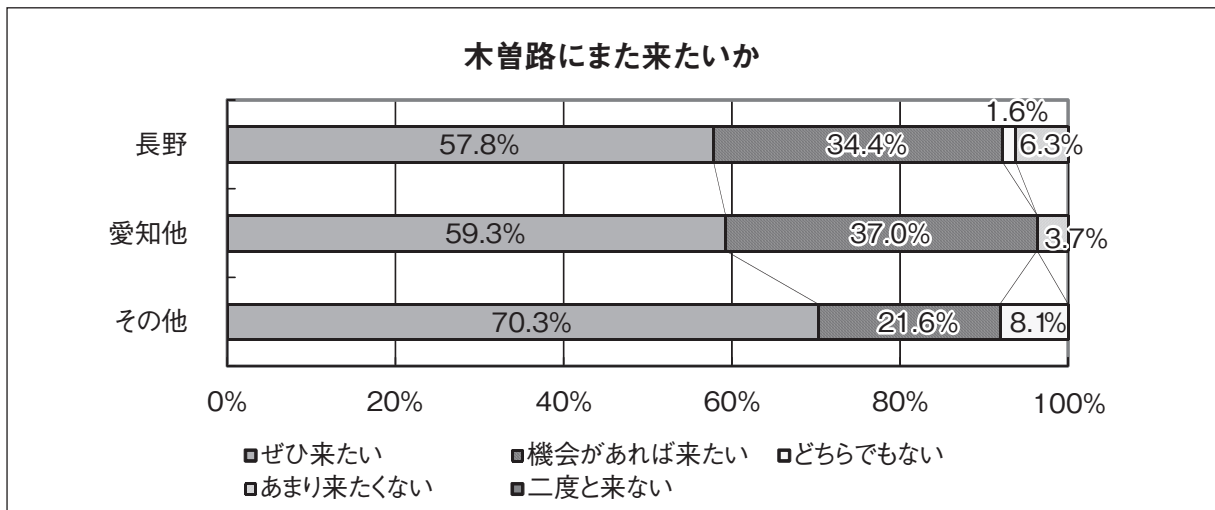


図19. 木曽路にまた来たいか

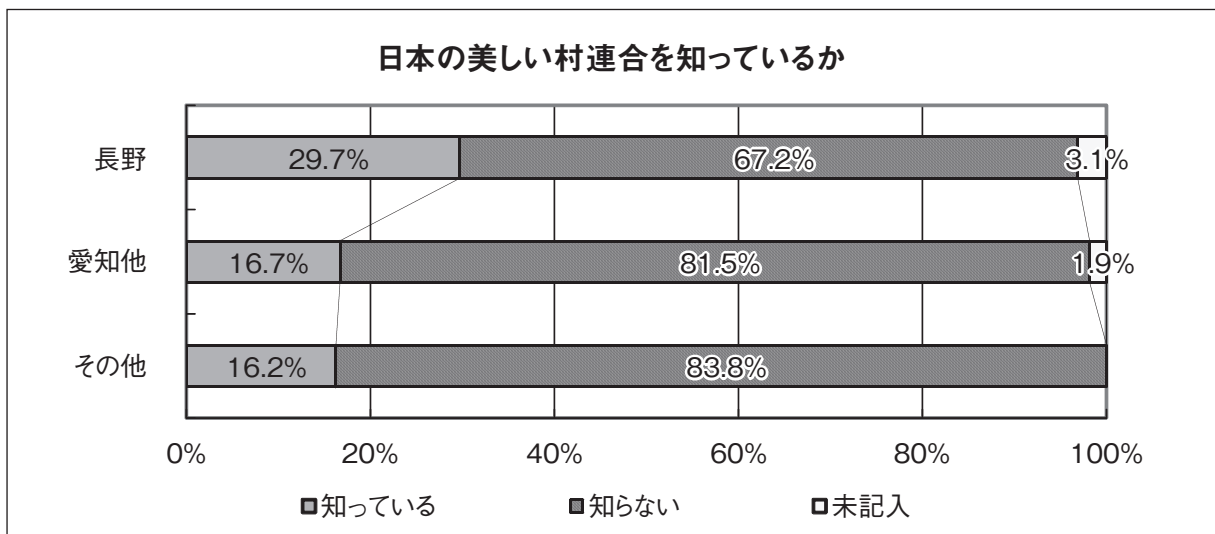


図20. 日本の美しい村連合を知っているか

Ⅲ. 結

木曾福島地区、開田高原または道の駅日義木曾駒高原への来訪者に対して2012年10月28日(日)に行ったアンケート調査の結果を、長野県、愛知他2県(愛知、静岡、岐阜)、その他都道府県からの来訪者の3つの居住地域に分けて集計・分析した。

2012年の調査では、居住地別集計で50歳代以上の割合は、長野県(64人中)は50.0%(32人)、愛知他2県(54人中)は61.1%(33人)、その他都道府県(37人中)は64.8%(24人)と、長野県の割合が他の居住地域よりも11~15ポイント低くなっている。一方、30歳代以下で比較すると、長野県は32.8%(21人)、愛知他2県は24.1%(13人)、その他都道府県は13.5%(5人)と、県外からの来訪者の方が長野県からの来訪者よりも比率が約9ポイントから19ポイント低くなっている。

2011年10月の調査と比較すると、長野県では、50歳代以上の比率は2011年よりも約2ポイント増加し、40歳未満(30歳代以下)は1ポイント増加した。愛知他2県では、50歳代以上の比率は2011年よりも約7ポイント増加し、40歳未満は1ポイント減少した。その他都道府県では、50歳代以上の比率は2011年よりも9ポイント増加し、40歳未満が昨年の23.4%(22人/94人)から約8ポイント減少した。昨年と同様に天候不順であったが、その影響がその他都道府県からの30歳代以下の来訪者の減少に強く現れているようだ。

来訪者の主な旅行ルート(往路と帰路)は今回初めて調査項目に加えた。長野県からの来訪者(64人中)で、塩尻方面から来訪した34人の主な帰路は塩尻方面(29人/34人、85.3%)であった。伊奈方面から来た(権兵衛トンネルと通ってきたと思われる)15人の主な帰路は、伊奈方面(10人/15人、66.7%)であった。中津川方面から来た6人の帰路は、塩尻方面3人、中津川方面1人であった。

愛知他2県からの来訪者で、往路中津川方面からの39人の帰路は、中津川方面(30人/39人、76.9%)、伊奈方面(3人/39人、7.7%)、高山方面(2人/39人、5.1%)、その他2人であった。

その他都道府県からの来訪者で、往路塩尻方面からの11人の帰路は、塩尻方面(8人/11人、72.7%)、伊奈方面3人(そのうちに1人はその他として立科も記入)(3人/11人、27.3%)であった。往路中津川方面からの9人の帰路は、中津川方面6人、高山方面1人であった。往路伊奈方面からの8人の

帰路は、伊奈方面5人、塩尻方面1人であった。

今回の旅行での主な立ち寄り先は、長野県からの来訪者は30歳代から70歳代までの方計11人が、愛知他2県からの来訪者は30歳代から70歳代まで計19人の方が、その他都道府県からの来訪者は20歳代から60歳代まで計25人の方が記入して下さった。ちょうど10月28日(日)に開催された「おんたけ湖ハーフマラソン」第2回大会への参加者も調査に協力してくれたことがわかった。

今回(2012年)の調査では、来訪回数が6回以上の方は、長野県56.3%(36人/64人)、愛知他2県61.1%(33人/54人)、その他都道府県18.9%(7人/37人)であった。また、2回目以下の方は、長野県18.8%(12人/64人)、愛知他2県13.3%(16人/54人)、その他都道府県51.4%(19人/37人)であった。

6回以上のリピータは2011年よりも長野県では約16ポイント、愛知他2県でも約16ポイント増加しているが、その他都道府県ではほとんど変わっていない。2回以下の来訪者は、2011年よりも長野県では約11ポイント、愛知他2県では約23ポイント、その他都道府県では約18ポイント減少している。天候の影響で、どの地域においてもはじめてや2回目の来訪者の大きな減少を招いたと考えられる。

木曾福島地区を来訪された方の当地に関する情報入手方法は、単純集計では、「以前に来た」、「観光パンフレット」、「口コミ」、「インターネット」、「ここではじめて」、「ガイドブック」、「沿道の看板」の順になっている。季節季節の変わり目に、催しもの情報、季節のお菓子や特産物などの情報を観光パンフレットやホームページで紹介していることも旅心をそそることに役立っているかもしれない。

この地域でほしい情報は、単純集計では、「食事の楽しめる場所」、「温泉施設」、「季節のイベントや催し」、「農産物直売所」、「自然にふれあえる場所」、「ドライブコース・道路」の順となっている。これらの情報を得るために、観光パンフレットやインターネットが重要な手段となっていることが窺える。

今回の旅行で訪れる場所(予定を含む)は、単純集計で10位までに挙げられている場所は、(1)御嶽山とその周辺、(2)道の駅、(3)宿場町、(4)木曾福島地区、に大別される。

お土産として購入したもの(記述式質問)の中に、「野菜」、「りんご」、「蕎麦」、「きのこ」、「漬け物」など地場の農産物、「栗こもち」、「栗きんとん」等のお菓子類、「酒」、「箸」、「漆器」などが

挙げられている。

お土産として探しているもの(記述式質問)の中には、「購入したもの」の中に含まれるものが多いが、それら以外に、「特産品(名産品、木曾ならではのものを含む)」14、「おいしいもの」4が目立った。これらの言葉で表現されたものに対して<明確なイメージ>を与えることができる<もの>は何か、それを探ることがこれからの大切な課題の一つではないだろうか。

木曾地域で飲食してみてもおいしかったもの(5つまで選択)に対しては、「アイスクリーム」、「とうじそば」、「すんきそば」、「赤かぶ漬け」、「そばまんじゅう」、「栗子餅」、「とうもろこし」、「エゴマの五平餅」、「きのこ(鍋)」、「ほおば巻き」、「木曾牛コロッケ」等が挙げられている。

他にどんな(食材を使った)料理を食べてみたいですか(記述式質問)に対する回答を調べると、どの居住地域からの来訪者も、「蕎麦」、「きのこ料理」に関心がある。それら以外に、長野県では、「すんき」、「猪」、「とうもろこし」、「岩魚」や「信州サーモン」などの川魚料理、「木曾牛」を使った料理、「そばガレット」等そば(粉)を使った料理が挙げられている。愛知他2県では、「鮎、岩魚などの川魚料理」、「ポタン鍋」(ジビエ料理?)、その他都道府県では、「信州(木曾)牛」、「猪」、「山菜を使った料理(和風と田舎風)」、「地域限定のお弁当」、「リンゴを使ったもの」などが挙げられている。昨年の調査よりも具体的な記述が増えている。

お土産の製造元に注意するかに対する単純集計の結果は、「はい」38.1%、「いいえ」33.5%で、「はい」よりも「いいえ」の比率がはじめて若干高くなった。単純集計で6回以上の来訪者の割合が2012年は56.3%と2011年の37.4%から19ポイントも増加したことが影響しているのであろうか。

この調査に参加した学生は、当時松本大学総合経営学部4年生1名(木村文哉)、3年生2名(大澤和恵、山本真衣)、2年生6名(田中はるな、田中万葉、永井美穂、西沢美奈、宮田和希、森祐介)であった。

謝辞

2012年度の調査を行う際にも、前年度同様、木曾町企画財政課まちづくり係の方々に協力をして頂いた。この場を借りて感謝いたします。

〈付録〉

アンケート調査 (木曾福島地区、道の駅日義木曾駒高原、開田高原を訪れた方対象)

Q0 調査地点：木曾福島地区 (①足湯、②上の段、③代官屋敷) ④道の駅日義 ⑤開田高原

Q1 お住まい (ご自宅) はどちらですか

①都道府県 1) 長野県 2) 愛知県 3) 岐阜県 4) 静岡県 5) その他(都・道・府・県)
②市町村 (市・町・村)

Q2 ①性別と②年齢を教えてください

①性別 1) 男 2) 女
②年齢 1) 20歳未満 2) 20歳代 3) 30歳代 4) 40歳代 5) 50歳代
6) 60歳代 7) 70歳以上

Q3 今回の旅行に関する次の質問にお答えいただけますか

①日程：1) 日帰り 2) 1泊2日 3) 2泊3日 4) 3泊4日以上
②今日は：1) 1日目 2) 2日目 3) 3日目 4) 4日目以上
③宿泊地：a) 1泊目 1) 木曾町 2) その他[] b) 2泊目 1) 木曾町 2) その他[]
④観光コース：1日目 () →2日目 ()
→3日目 () →4日目以降 ()

Q4 現在地 (福島地区、開田高原、または日義道の駅) で何時間ぐらい過ごされますか

1) 30分未満 2) 1時間未満 3) 1時間以上～2時間未満
4) 2時間以上～3時間未満 5) 3時間以上～4時間未満 6) 4時間以上

Q5 どなたと旅行されていますか

1) 単独 2) 友人知人 3) 家族 (子連れ) 4) 家族 (大人のみ) 5) 夫婦
6) カップル (未婚) 7) 職場団体 8) ツアー団体 9) その他 ()

Q6 主な交通手段は何ですか

1) マイカー 2) バイク 3) 自転車 4) 観光バス 5) 鉄道 (JR) 6) 中央高速バス
7) タクシー 8) その他 ()

Q7 今回の旅行でどのようなルートを使っていますか (予定を含む) (複数回答可)

①往路 1) 塩尻方面から 2) 中津川方面 3) 伊那方面 4) 高山方面 5) その他()
②帰路 1) 塩尻方面へ 2) 中津川方面 3) 伊那方面 4) 高山方面 5) その他()

Q8 現在地 (木曾福島、開田高原、または道の駅日義) に今までに何回来たことがありますか

1) はじめて 2) 2回目 3) 3～5回目 4) 6～9回目 5) 10回以上

Q9 木曾町を訪れた目的は何ですか (3つまで選んでください)

観光 (①紅葉狩り、②自然の風景、③ドライブ、④木曾馬牧場) ⑤温泉 (足湯も含む)
⑥産地直売品・おみやげ ⑦飲食 () ⑧その他 ()

Q10 今回の旅行で訪れた (訪れる予定の) 場所を教えてください (5つまで選んでください)

1) 木曾くらしの工芸館 (道の駅ならかわ) 2) 平沢漆器街 3) 奈良井宿 4) 鳥居峠
5) やぶはら高原 (こだまの森) 6) 藪原宿 7) 義仲館 8) 福島関所
9) 山村代官屋敷 10) 上の段の街並み 11) 興禅寺 12) ふるさと体験館きそふくしま
13) 開田高原 (九蔵峠展望台を含む) 14) 木曾馬の里 15) やまゆり荘 16) 木曾駒高原
17) 彩葉館 18) 道の駅日義木曾駒高原 19) 道の駅木曾福島 (木曾市場) 20) 道の駅三岳
21) 御嶽山 22) 寝覚の床 23) 定勝寺 24) 赤沢自然休養林 25) 道の駅大桑 (木楽舎)
26) フォレスパ木曾 27) 桃介橋 28) 妻籠宿 29) 馬籠宿 (藤村記念館)
30) その他 ()

松本大学2012.10.28 (日)

Q11 どこで現在地(木曾福島、開田高原、または道の駅日義)の情報を集めましたか (3つまで)

- 1) ここに来てはじめて知った 2) 口コミ 3) ガイドブック 4) 観光パンフ 5) 道沿いの看板
6) 新聞・チラシ 7) インターネット 8) テレビ・ラジオ 9) 以前来た 10) その他 ()

Q12 今後この地域のどんな地域情報がほしいですか (3つまで選んでください)

- 1) 温泉施設 2) 自然にふれあえる場所 3) 食事の楽しめる場所 4) 季節のイベントや催し
5) 農産物直売所 6) 地元民との交流 7) 空き家(移住)情報 8) ドライブコース・道路
9) その他 () 10) 必要ない 11) わからない

Q13a 今回の旅行で(旅費、宿泊費を除く)予算は1人当たり大体いくらですか

- 1) 5千円未満 2) 5千円~1万円未満 3) 1万円~1万5千円未満
4) 1万5千円~2万円未満 5) 2万円以上

Q13b そのうち、お土産代はいくらくらいですか

- 1) 2千円未満 2) 2千円~4千円未満 3) 4千円~6千円未満
4) 6千円~8千円未満 5) 8千円~1万円未満 6) 1万円以上

Q14a お土産に何を買いましたか ()

Q14b お土産にどんなものを探していますか ()

Q14c お土産の製造元(どこで製造されたか)を調べた上で買いますか

- 1) はい 2) いいえ 理由 ()

Q15a この地域で食べたもので、何がおいしかったですか (5つまで選んでください)

- 1) とうじそば 2) すんきそば 3) すんきラーメン 4) 五穀ラーメン
5) イワナ天丼 6) すんきとん丼 7) 木曾牛コロッケ 8) きのこと(鍋)
9) ますの押し寿司 10) エゴマの五平もち 11) 雑穀もち・だんご 12) 赤カブ漬け
13) とうもろこし 14) おんたけ白菜 15) アイスクリーム 16) 栗こもち
17) ほおば巻き 18) そばまんじゅう 19) その他 ()

Q15b この地域で、ほかにどんなもの(どんな食材を使った料理)を食べてみたいですか ()

Q16 木曾路の印象はいかがですか

- 1) 良かった 2) 普通 3) 良くなかった(期待はずれ) →理由 ()

Q17 あなたは、また現在地(木曾福島、開田高原、または道の駅日義)に来たいと思いますか

- 1) ぜひ来たい 2) 機会があれば来たい 3) どちらでもない 4) あまり来たくない
5) 二度と来ない

Q18 「日本で最も美しい村連合」をご存じですか

- 1) 知っている 2) 知らなかった

現在、全国で49地域、長野県では7町村(大鹿村、木曾町、中川村、南木曾町、小川村、池田町、高山村)が参加しています。

ご協力ありがとうございました。